八雲町における森林環境譲与税の活用について

■活用状況

区分	令和元年度～令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(円)	91,270,393	30,390,666	121,661,059	38%	私有林等の森林整備及び地域材の利用促進等(役場新庁舎等への木材利用)
譲与額(円)	251,744,000	68,278,000	320,022,000		

■令和7年度の具体的な活用状況

事業区分	事業名	事業費(円)	うち森林環境譲与税	事業内容
私有林整備	私有林等整備	19,833,662	19,833,662	地域森林計画の対象とする森林において、森林経営計画の作成者等が施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ計画的に行う間伐等の森林施業に対し補助した。(保育間伐104.28ha、下刈315.25ha、枝打ち12.99ha)
担い手確保	担い手対策事業	9,725,000	9,725,000	森林整備現場における安全性の向上や軽労化を図る機械整備に必要な経費を支援した。(ﾌｪﾗｰﾊﾞﾝﾁｬ1台、ﾄﾞﾛｰﾝ測量ｼｽﾃﾑ1台) また、北海道林業木材産業人材育成支援協議会の取組に賛同し、道立北の森づくり専門学院を支援した。
森林・林業・木材普及活動等	木育事業	643,294	643,294	将来の林業の担い手を確保するため、幼児や小学生を対象に林業現場見学会を1回(32名参加)、植樹・育樹体験1回(15名参加)開催し、林業の魅力や森づくりの大切さを発信した。
その他(森林整備)	普及事業	188,710	188,710	全国ふるさと森林相談会等を活用し、不在村森林所有者への森林整備事業の普及活動を行った。
合計		30,390,666	30,390,666	
基金積立		37,887,334	37,887,334	令和8年度以降に予定している私有林等整備事業や地域材の利用促進等に充当するための積立(八雲町森林環境基金)

■今後の実施計画

①私有林等における森林整備の実施

森林経営計画に基づき保育間伐や除伐、枝打ち等の森林整備事業や路網整備事業を実施する。




②木育の推進

幼児や小中高生を対象とした植樹や育樹体験、林業現場見学会を開催し、林業の魅力や森づくりの大切さを発信する。




③役場新庁舎等への地域材の利用

森林資源の有効利用を図るため、役場新庁舎等への地域材の利用を促進する。

